

令和3年9月14日

報道関係者各位

大阪府 茨木市

茨木市立文化財資料館第37回テーマ展
「ほとけの心・木のちから―蓮花寺と地域の美術―」開催について

茨木市教育委員会は、茨木市立文化財資料館（茨木市東奈良三丁目12-18）で、9月25日から11月29日まで、下記のとおり第37回テーマ展「ほとけの心・木のちから―蓮花寺と地域の美術―」を開催します。

京都方面へ向かう阪急電車の車窓から、南茨木駅に入る直前に左側にみえる寺院が高野山真言宗の蓮花寺です。蓮花寺は、平成30年（2018年）の大阪府北部地震で本堂などが損傷し、安置している大阪府指定有形文化財の地蔵菩薩立像も被害を受け、同年度から令和元年度にかけて修理が行われました。今回のテーマ展は、この修理完成記念として開催するものです。

蓮花寺の歴史は古く、行基の開基と伝わります。地蔵菩薩立像は茨木市内でも数少ない平安時代の古像です。他にも、平安時代末～鎌倉時代の十一面観音菩薩立像（大阪府指定有形文化財）や、今回寺外初公開となる大日如来坐像など、古くからの歴史を物語る仏像が数多く伝わる寺院です。本展は蓮花寺の仏像を中心に、周辺地域に遺された優れた仏教美術を紹介し、現在に至るまでの歴史と文化を紐解いていく内容となっています。

また、大阪大学大学院教授 藤岡稯先生の貴重なご講演をはじめとして、子ども向けに面白くわかりやすく仏像を解説するギャラリートーク「ぶつぞうをみてみよう」や、楽しみながら学べる館内クイズラリー（景品あり）も開催します。

コロナ禍での開催となりますが、本展示が来館者の癒しの時間・空間となれば幸いです。

記

展 示 名： 第37回テーマ展「ほとけの心・木のちから―蓮花寺と地域の美術―」
開催日時： 9月25日（土）～年11月29日（月）午前9時から午後5時
休 館 日： 火曜日（11月23日を除く）、11月4日、24日
会 場： 茨木市立文化財資料館 1階展示室
主 催： 茨木市教育委員会
協 力： 大阪モノレール

【問合せ先】

茨木市教育委員会教育総務部歴史文化財課
茨木市立文化財資料館
館長 黒須靖之
担当 桑野 梓
電話：072-634-3433

